

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2019-44163 (P2019-44163A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2018-155615 (P2018-155615)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 L 1/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/20 C E P Z

C 0 8 J 3/20 C F G

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 77/00

C 0 8 L 1/02

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 26 日 (2020.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリアミド系樹脂及び／又はポリアセタール系樹脂を含む熱可塑性樹脂と、
径が 450 nm 以下であるセルロースウィスカー若しくは径が 450 nm 以下であるセ
ルロースファイバー又はこれらの混合物であるセルロース（但し、カチオン性セルロース
のカチオン基が中和されてなる変性セルロースを除く）と
を含む樹脂組成物の製造方法であって、

水を主成分とする分散媒と、前記分散媒中に分散させた熱可塑性樹脂及びセルロースと、
界面活性剤とを含む樹脂セルロース分散液を調製する第一の工程、

前記樹脂セルロース分散液を攪拌しながら加熱し、分散媒を除去して樹脂セルロース混
合物を得る第二の工程、

第二の工程で得られた樹脂セルロース混合物を溶融混練して樹脂組成物を得る第三の工
程、

をこの順に含む、樹脂組成物の製造方法。

【請求項 2】

樹脂組成物中の熱可塑性樹脂の比率が、樹脂組成物 100 質量％に対して 50～99 質
量％である、請求項 1 に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 3】

熱可塑性樹脂が、ポリアミド系樹脂である、請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組成物の製造
方法。

【請求項 4】

前記ポリアミド系樹脂が、ポリアミド 6、ポリアミド 6, 6、又はこれらの混合物であ
る、請求項 3 に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 5】

第一の工程において、セルロースを分散媒中に分散させてセルロース分散液を得た後、前記セルロース分散液を熱可塑性樹脂に添加して前記樹脂セルロース分散液を得る、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 6】

第一の工程においてセルロースと組合される熱可塑性樹脂の 50 質量%超がペレット形状である、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 7】

第一の工程において得られる樹脂セルロース分散液 100 質量%中のセルロースの割合が、1 ～ 30 質量%である、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 8】

第二の工程の温度が、100℃以上、200℃未満である、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 9】

第三の工程の少なくとも一部を大気圧未満の減圧状態で行う、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。

【請求項 10】

第一～第三工程を押出機で連続して実施する、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の製造方法。